

社会資本整備審議会 道路分科会
平成28年度 第3回 四国地方小委員会
議事概要

1. 日時：平成29年3月14日（火） 11：00～11：40
2. 場所：高松サンポート合同庁舎 13階 1306・1307会議室
3. 出席者
[委員長]
山中 英生 徳島大学大学院理工学研究部 教授
[委員]
石原 俊輔 四国経済連合会 専務理事
倉内 慎也 愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 准教授
野々村敦子 香川大学工学部安全システム建設工学科 准教授
4. 議事内容
(1) 四国地方小委員会及び新規事業採択時評価について
(2) 新規事業採択時評価
一般国道56号（四国横断自動車道）佐賀大方道路
5. 審議結果
一般国道56号（四国横断自動車道）佐賀大方道路の新規事業化は妥当である。
6. 主な意見
【一般国道56号（四国横断自動車道）佐賀大方道路】
 - ・当該地域は、防災面での課題が大きく、道路整備と地域の防災計画が一体となって効果を発揮すると思われる。整備される道路に避難場所の機能を有するとさらに効果的である。
 - ・佐賀大方道路のB/Cにおいて、物流関連の交通量に関する時間信頼性向上などの便益を加味すればそれ以上の効果が見込まれる。
 - ・災害時に片側交互通行となった場合、対面2車線の走行空間を確保するなどの検討も必要。
 - ・3便益以外の整備効果を、便益として考慮することも今後考えてほしい。
 - ・ストック効果（産業、観光）を發揮するため、民間を活かしたまちづくりを考えてほしい。